学校運営協議会、協議内容（５月１６日）

① 令和４年度学校運営についての基本方針　承認

〇海老原校長より

・日常の中に幸せがある、感じられる学校づくり。

・国語科の研究で児童の学力を高めていく。

→学習に意欲をもって取り組める子

・「先生と話そう週間の実施」

→いじめの防止と早期発見のために年間を通して実施

・「教育相談日」の新設

→保護者の悩みや困り感に寄り添う

・児童の挨拶を広げる

→元気な挨拶や時と場合に相応しい挨拶（会釈）など

・ICT の活用

→オンライン授業の実践

・毎年、学級編成を実施することに。

→保護者と児童に理解が得られるよう段階的に説明を行い実施。学級編成により児童が新しい気持ちで新学期をスタートできることや、友人関係を広げること、たくさんの先生に出会うことなどのプラスの効果を信じて実施。今年度の大きな変化のひとつ。

〇参加者の声

・８、９時まで残って先生方が働かないように。翌日、子供の前に立つときに笑顔で。

・先生方もご自分の趣味を大切にすること。熱心に働くことは真面目で良いことだが、仕事だけでは世界がせまくなってしまう。プライベートの時間を大切にしてほしい。

② 学校から地域にお願いしたいこと　（小合教頭より）

〇小合教頭より

自治会の方に協力をお願いしてできること、地域の方に学校の中に入ってもらってお手伝いをいただければ、学校現場の働き方改革にもつながる。たとえば以下の２点。

・登校指導（朝、通学路に立ち、登校の様子を観察、気になる点を挙げてもらう）をしてもらえると、担任は教室で児童をむかえられる。

・教室の机と椅子の高さ調整の手伝い。

〇参加者の声

・自治会でも活動できる人は高齢者で若い人は忙しい。自治体役員の若返りが課題であり、現状は学校のサポート活動をするには課題が多い。

〇市川市教育委員会学校地域連携推進課　大野さんより

・地域で活動している団体が連携を図り、地域のためにできることは実行していくことが大切。地域のことは地域で守るという考え方。南行徳中ブロックはネットワークをつくっている段階。令和２年度に共同本部は立ち上がってはいるが、コロナで活動が止まっている。今後は実働していくことが重要。